

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 17日

中施策事業名	市道等維持管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士

①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路、橋梁及び公共用物の占用、承認工事に関すること ・道路及び公共用物の維持修繕に関すること ・定期及び春秋の土砂回収業務に関すること ・橋梁の長寿命化計画及び実施に関すること ・道路等の草刈業務に関すること ・道路等照明施設の維持修繕に関すること ・道路パトロールの実施並びに対応に関すること

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
路面調査による舗装 修繕進捗率		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	80	90	100	10	20
実績値	84	92					
単位	%						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0					
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			226,952千円	258,500千円	
人件費	a 事業費合計		226,952千円	258,500千円	300,932千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			3,811千円	8,008千円	12,762千円
③ コスト(①-②)			223,141千円	250,492千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			3,243円	3,640円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>A</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁定期点検を実施した。老朽化した道路の舗装を計画に基づき打替え等の修繕を実施した。また、車両等の交通環境を良好な状態に維持することを目的として、路肩等の草刈等を実施した。これらのことにより、道路の利用者が安全で安心して通行できる道路環境の維持、整備を実施することができた。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>道路舗装個別施設計画を基に、引き続き舗装の修繕を計画的に実施していくとともに、橋梁点検においては、よりコストの削減することを目的として新技術の活用を検討する。草刈等においては、長期的なコストも考慮し、可能な限り防草対策を実施する。新たに前後駅前広場北側デッキの整備改修工事を実施し、道路照明施設のLED化を進める。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>草刈等においては、頻繁に要望等のある箇所を継続的に把握し、事前の対策が可能かどうか検討していく。舗装修繕においては、次期計画更新時には予防保全も視野に入れ地域の魅力を高めることができるよう検討する。橋梁点検も同様に、長期コスト削減のための予防保全の実施を検討していく。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 5日

中施策事業名	交通安全施設管理・整備事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士

①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安全安心に通行している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全施設要望の事務に関すること</li> <li>・交通安全施設の維持補修に関すること</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
通学路安全プログラムによる交通安全施設整備実施率	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100			
単位	%					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		43,880千円	37,151千円		
人件費	a 事業費合計	43,880千円	37,151千円	30,914千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		9,425千円	5,170千円	3,575千円	
③ コスト(①-②)		34,455千円	31,981千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		501円	465円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>通学路交通安全プログラム及び緊急合同点検を基に抽出された対策必要箇所は、計画に基づき実施した。各区の区長より提出される交通安全施設工事要望については、必要性、緊急性等を考慮し、通学路を優先として順次実施した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	通学路交通安全プログラムに基づき、確実に実施していく。交通安全施設工事要望についても、優先度、緊急度を考慮し、必要な対策を実施していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き通学路交通安全プログラムの確実な運用を継続実施していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 17日

中施策事業名	道路新設改良事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士

①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	安心して通行できるよう道路が整備管理されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・道路工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関する事 ・道路、橋梁工事の調査及び設計施工に関する事 ・道路、橋梁工事の災害復旧に関する事 ・社会資本総合整備計画（道路局）に関する事 ・市町村土木補助事業に関する事 ・特定交通安全施設等整備計画に関する事

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
区長要望工事の採 択率	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	35	35	35	50	50
	実績値	38	63			
単位	%					
管理者施工	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	4	4	4	4	4
	実績値	8	7			
単位	箇所					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		140,497千円	172,485千円		
人件費	a 事業費合計	140,497千円	172,485千円	173,060千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		39,869千円	50,532千円	21,890千円	
③ コスト(①-②)		100,628千円	121,953千円		
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>		1,462円	1,772円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>R4年度から、区長要望工事に充当する予算が5年間増額となった。区長要望工事をより採択できることが可能となった為、採択率が上昇した。よって、車、歩行者が安全で安心して通行できる交通環境が実施できた。</p> <p>まちづくり指標「道路がスムーズに走れると感じる市民の割合」は目標値には届いていないものの、前年度よりも上昇しており、引き続き交通環境の整備に努める。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	管理者施工として現在整備を実施中の地区に加えて、側溝等の老朽化が著しい地区について、整備計画を策定する必要がある。特に公団施設の地区については施工後40年以上経過しており、早急な対応が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	整備計画に基づき、計画的に施工を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 5日

中施策事業名	街路樹管理事務	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士

①めざすまちの姿	09 空気がきれいである
②大施策	きれいな空気を保全する
③中施策	緑の多い生活環境をつくる
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	緑の多い生活環境となっている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・街路樹の維持管理に関すること ・アダプトプログラムに関すること。

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
街路樹による要望等の件数		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	23	22	20	20	20
		実績値	25	35			
単位	件						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			38,383千円	39,242千円	
人件費	a 事業費合計		38,383千円	39,242千円	38,834千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			38,383千円	39,242千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			558円	570円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>街路樹の適正管理に努めており、交通安全対策(視距対策)として、計画的に伐採を行ったが、期待したような要望件数の減少にはつながっていない。今後も目標達成のために継続実施していくとともに、剪定時期を変えることによる効果も検討する。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	引き続き、計画的な伐採を行っていくとともに、その順次点検を行い、事故を未然に防ぐためにも、懸念される箇所は伐採していき適正な管理に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	安全な通行の確保と緑の環境を考慮し、街路樹の必要箇所、不要箇所のメリハリをつけ、適正な管理を実施していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等



# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 21日

中施策事業名	農業環境保全事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士

①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる
④中施策事業の対象	農地（勅使水系）
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	広域的な活動による農地の保全管理
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・多面的機能支払事業

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
事業の達成率		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	80	81	82	83	84
		実績値	80	81			
単位	%						
		事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		6,957千円	6,849千円		
人件費	a 事業費合計	6,957千円	6,849千円	7,180千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		5,088千円	5,007千円	4,709千円	
③ コスト(①-②)		1,869千円	1,842千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		27円	27円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>勅使水系環境保全の会における多面的機能支払交付金の活動がより効果的となるよう、定期的に役員会を開催し中間報告等を行い、効率的な活動を促進することで目標を達成することができた。R4年度も引き続き、対象地域の草刈りや水路の清掃、機能診断を行い、適切な保安全管理を支援した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	毎年度の評価結果を踏まえ翌年度の活動内容を見直し、目標に向けた効率的な活動を推進する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	農業農村地域に存する排水路等については、設置後30年以上経過しており老朽化等により施設破損が発生している。施設の機能が適正に維持、発揮できるようにするため、長寿命化対策の地区計画を作成する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 7月 14日

中施策事業名	土地改良施設維持管理事業	部課名	経済建設部・土木課
		作成者	星子 恭士

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	農業者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業施設の長寿命化を図ることで、安定した農業基盤の基もと農業を営むことができている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・農業土木工事（区長要望工事、管理者施工工事）の実施に関する事 ・排水機の維持管理に関する事 ・維持管理適正化事業に関する事 ・単県事業（工事発注、申請書作成）に関する事 ・土地改良施設（ため池、用排水路）の維持管理に関する事 ・農業取水施設等の他自治体との調整に関する事

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
維持管理施設整備率	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	70	70	70	70	70
	実績値	70	70			
単位	%					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		111,691千円	133,251千円		
人件費	a 事業費合計	111,691千円	133,251千円	137,050千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		25,559千円	30,780千円	6,305千円	
③ コスト(①-②)		86,132千円	102,471千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,252円	1,489円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 排水機場・用排水路等の土地改良施設に対して、適切な時期に適切な内容で維持管理をすることにより、施設の長寿命化を図る事業である。これまで、補助金を活用し、ため池の改修等を行うことにより目標を達成できた。
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	排水機場、用排水路等の土地改良施設は、設置後30年以上経過している施設が多くあることや、ため池の耐震化も必要となり、今後、維持・更新する為には膨大なコストが必要となる。更新等修繕に係る費用の平準化を図り、計画的な維持管理を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	次年度以降も改善事項が継続できるよう関係機関と調整し事務を行う。 土地改良施設デジタル化事業 1. 漏水箇所の早期把握や、治水対策に最も有効であるため池による事前放流の管理、ため池県営耐震事業による施設管理を行う。 2. 膨大にある農業施設の適切な維持管理を計画的かつ効率的に行う為。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 排水機場監視操作事業	内容、理由、時期等 排水機場運転者の超高齢化と、担い手不足の為、排水機場を自動化し管理委託をすることにより、排水区域の湛水を防除する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) ①農水管修繕②ため池等水位管理	内容、理由、時期等 ①農水管漏水による県道・市道・井堰川の陥没懸念による緊急対策。 ②治水対策に最も有効であるため池等の事前放流の管理を行う為
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等